

# 令和3年、北部方面隊始動



第769号  
令和3年2月8日

要望事項  
**必成**  
北方総監 史

発行：北部方面総監部広報室



だるまの目入れ(北部方面総監部)

今年一年の飛躍や安全を祈願  
新年を迎え、それぞれの駐屯地や部隊では、今年一年の飛躍や安全を誓い、訓練始めが行われた。  
訓練始めに参加した隊員は、厳しい寒さの中、気持ちを新たに令和3年のスタートを切った。



安全祈願(第5特科隊)



師団統一訓練始め(第7師団)



スキー行進訓練(第2特殊武器防護隊)



編隊飛行(北部方面航空隊)



駆け足(北部方面対舟艇対戦車隊)



年初飛行(第11旅団長操縦)(第11飛行隊)



年頭の辞を述べる方面総監

この機会を活用し、総監として隊員諸君へ本年の隊務運営の着意を達する。これまでの要望事項『必成』に変わりはないものの、我々を取り巻く周辺情勢はもはや平時とは言い難いと認識している。  
かかる情勢下、北部方面隊は我が国最大・最強にして陸上自衛隊を牽引する方面隊として、本年は特に「軍事組織の原点に立ち返った隊務運営」に留意して欲しい。即ち、あらゆる隊務において、「真に戦えるか・勝利できるか」という視点をもつてこれに臨んでもらいたい。  
「治にいて乱を忘れず」とおり、各級指揮官、隊員一人ひとりに至るまで軍事組織の原点に立ち返った隊務運営を要望する。  
詳しくは改めて各指揮官を通じて達するが、本訓示をしっかりと咀嚼し、新しい年の隊務に当たってもらいたい。  
隊員諸君の更なる飛躍を祈念して、年頭の辞とする。

新しい年が、諸君とご家族、そして北海道民はじめ国民の皆様にとつて、素晴らしい年になることを祈念する。  
現在、私は、我々の護るべき領土であり、道場である北海道の一端である札幌市上空を飛行している。  
この機会を活用し、総監として隊員諸君へ本年の隊務運営の着意を達する。  
『必成』に変わりはないものの、我々を取り巻く周辺情勢はもはや平時とは言い難いと認識している。  
かかる情勢下、北部方面隊は我が国最大・最強にして陸上自衛隊を牽引する方面隊として、本年は特に「軍事組織の原点に立ち返った隊務運営」に留意して欲しい。即ち、あらゆる隊務において、「真に戦えるか・勝利できるか」という視点をもつてこれに臨んでもらいたい。  
「治にいて乱を忘れず」とおり、各級指揮官、隊員一人ひとりに至るまで軍事組織の原点に立ち返った隊務運営を要望する。  
詳しくは改めて各指揮官を通じて達するが、本訓示をしっかりと咀嚼し、新しい年の隊務に当たってもらいたい。  
隊員諸君の更なる飛躍を祈念して、年頭の辞とする。

## 方面総監年頭の辞

### 札幌市上空から全道の隊員へ





# 北部方面隊写真コンテスト

多数の応募作品の中から、特に優れた13作品を表彰するとともに、令和3年方面隊カレンダーに掲載しました。



表彰式(第7施設大隊 菅井2曹)



## 最優秀賞 第7師団第7施設大隊 2等陸曹 菅井信吾 「衝撃波」



令和3年北部方面隊カレンダー

北部方面隊ホームページにおいて閲覧及びダウンロードできます。

## 佳作 9作品



「空高く」  
第2通信大隊 市場2曹



「レッドカーペット」  
第2通信大隊 阿部曹長



「発射!」  
第25普通科連隊 増嶋2曹



「サイロ隊舎の夜桜」  
第11通信隊 矢瀬2曹



「猛進」  
第11普通科連隊 高橋2曹



「揺れるもの、揺らがぬもの」  
第2通信大隊 石川3曹



「戴帽の日」  
自衛隊札幌病院 山崎2曹



「北の銀河」  
北部方面航空隊 小林1曹



「カモメと飛んだ日」  
北部方面航空隊 高塩曹長

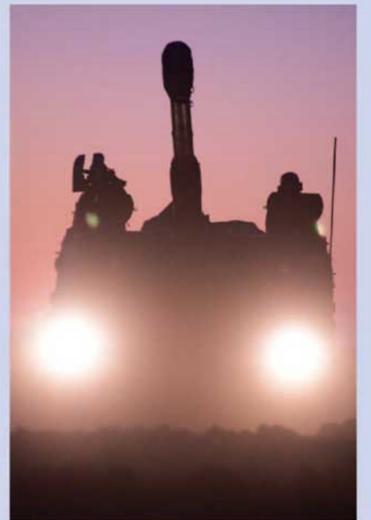
## 優秀賞 3作品



「前へ!!」  
第10即応機動連隊 永武2曹



「日没の向こう」  
第11偵察隊 中前園2曹



「ザ・シンボル」  
第2通信大隊 長尾2曹

## 自衛隊の魅力動画を紹介!!



動画はこちらから

なぜ自衛隊に? お財布事情はどう? 基地生活はどう? 等、現役自衛官がぶっちゃけました!



あなたはどんな仕事がしたいですか? 今の仕事に満足していますか? 自衛隊ならソレ、できます!



今年も、さまざまな職種・専門分野で活躍する自衛官を募集しています。ご家族・ご親戚・ご友人などで、自衛官になりたい方や興味がある方がいらつしやいましたら、お近くの地方協力本部に情報をお寄せください。試験日程、各種イベント及び説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。

第206回

## ～心の健康相談室～

### 人生に潤いを与える言葉

しょうきよ た うが  
繩鋸も木断ち、水滴も石穿つ。  
水到れば渠成り、瓜熟せば蒂落つ。  
道を得る者は一に天機に任す。

(「菜根譚」後集・110)

即ち「つるべ縄も長い間には、のこぎりと同じく井げたの木を切るし、あまだれも長い間には、石に穴を開ける。水が流れて来ると自然にみぞができ上り、うりが熟すと自然にへたが落ちる。このように道理を心得て事を成そうとする人は、ひたすら努力を続けて、あとは自然の働きにまかせて天の時節を待つのがよい」と云うのです。つまり、事が成就するにはそれに相応しい妙機、即ち、時が熟する「時熟」(じじゆく)を待つことが大切ではないでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本和雄